

平成22年6月議会質問及び回答要旨

1. 県立高等学校再編計画について

《回答：教育長》

今後の県立高校の再編については、平成21年2月に策定した県立高等学校再編基本計画に基づき実施していくこととしている。その際、高校教育の水準を確保し、生徒にとって魅力ある教育環境を整え、学校の活性化を図るという考え方に立って検討を進めていく。

また、県立高校の毎年度の入学定員については、地域別の中学校卒業予定者数を基本に、生徒の志願動向、普通高校と専門高校のバランス、あるいは定員充足状況などを踏まえ、入学定員を定めていきたいと考えている。

2. 漁業燃油セーフティネット事業について

《回答：知事》

近年、原油価格が乱高下をし、漁業に使われる燃油も高騰するなど、漁業経営に大きな影響を及ぼしている。そのため今年度から漁業燃油高等セーフティネット構築事業開始されているところである。

この事業は、毎年漁業者と国とが1対1で資金を積み立てるもので、漁業者にも一定の負担がかかる仕組みとなっている。この制度は燃油の急激な高騰時に漁業者に生じる負担の軽減に資するものと考えているが、漁業者にとって負担が大きくなるのが考えられるため、県として今後漁業者の加入状況や要望などを踏まえて、どのような支援が出来るのか検討していきたいと考えている。

3. 子宮頸ガン予防対策について

《回答：知事》

子宮頸ガン予防には、HPVワクチンの投与が有効であるため、市町村あるいは都県などにおいて、公的な助成が始まっている。従って、島根県における助成については、国の予防接種上の扱い、市町村の動きや県内の動きをよく注視しながら、検討していきたいと考えている。

他方、子宮ガン検診も予防には非常に重要であるため、今後は子宮頸ガン発生のメカニズムや予防接種の意義、検診受診を含めたガン予防について、啓蒙活動を行っていきたいと考えている。

4. 島根大学医学部地域枠推薦入学者に対するフォロー体制について

《回答：健康福祉部長》

本年4月から島根大学に寄附講座として設置した地域医療支援学講座内において、県内の医療機関と連携しながら、地域枠推薦で入学した医師等に対して、研修先のコーディネーターや、市町村や医療機関と地域枠学生との意見交換、交流会を開催し、出身地域とのつながりを強化する取り組みを行うこととしている。

また地域枠推薦で入学した学生が後輩の高校生や中学生に自己の体験談を語る場や、出身地の住民と語り合う機会を設けるなど、地域の熱い期待を肌で感じてもらえる場を多く設置できるよう、市町村や教育委員会と協力しながら、取り組んでいきたいと考えている。

5. 萩・石見空港大阪路線存続について

《回答：知事》

高速交通ネットワークは、地域の経済発展に大変大事なものである。そのため高速道などの整備が遅れている西部においては、萩・石見空港と東京、大阪を結ぶ航空路線は、産業振興や観光振興に不可欠な公共交通手段であると考えている。

したがって、東京路線の利用促進も含めた緊急的な利用促進対策を実施するとともに、観光地の魅力アップや企業立地など、航空需要を拡大するための根本的な体制を含め、利用拡大に向け全庁を挙げてさらに進めていきたいと考えている。